Intellisyncの使いかた

お知らせ

● 本電話機の取扱説明書に記載している「同期」という表記を本書（Intellisyncの使いかた）では、「シンク」と表記しています。

7ZPAN0145A
第 1.1 版

お客様へのお知らせ、および使用許諾契約

■お客様へのお知らせ

以下の契約内容（以下、「本使用許諾契約」といいます）を注意深くお読みください。同梱されているIntellisync Corporationのソフトウェアプログラム（以下、「本ソフトウェア」といいます。）をお客様のコンピュータシステムにインストールまたは使用することにより、お客様は自動的に本使用許諾契約に同意したものとします。本使用許諾契約を注意して読んだ後、お客様が、使用許諾契約の条項に同意されない場合は、速やかに本ソフトウェアをお客様のコンピュータシステムから削除してください。

■使用許諾

Intellisync Corporationは、お客様に対して、一時に1台のコンピュータシステムに対して、本ソフトウェアをインストールして使用することができる、非独占的権利を与えます。Intellisync Corporationは、本ソフトウェアの使用許諾は、お客様が本契約の条項を遵守されることを条件とします。

■著作権

本ソフトウェアは、合衆国著作権法、日本国著作権法、および国際条約規定により保護されています。本ソフトウェアについての知的財産権に対するいかなる権限もお客様に移転されるものではないことをご了解ください。さらに、本ソフトウェアについての権限および完全なる所有権は、Intellisync Corporationの独占的財産権として存続すること、および、本使用許諾契約に明示的に定められる場合を除き、お客様は本ソフトウェアについて、いかなる権利も取得するものではないことをご了解ください。本ソフトウェアのすべてのコピーは、本ソフトウェアの上部および内部に表示されるのと同一の所有権表示を含むことをご承諾ください。お客様は、本使用許諾契約に基づきお客様によって作成された本ソフトウェアのすべてのコピーについての正確な記録を保管しなければならないことに同意したものとみなします。

■使用上の禁止事項

事前にIntellisync Corporationの書面による許可を入手することなく、以下の行為を行うことはできません。(a) 本使用許諾契約に明示的に定められる場合を除き、本ソフトウェアもしくはこれに関する書面を使用、複製、修正、変更または譲渡すること、(b) 本ソフトウェアを翻案、逆アセンブル、逆コンパイル、プログラムの置き換えもしくはその他の方法により、リバースエンジニアリングすること、(c) 本ソフトウェアもしくはその書面をサブライセンスまたはリースすること、(d) 本ソフトウェアをレンタル、タイムシェアリングもしくはコンピュータサービス業務において使用すること。お客様が本使用許諾契約の条項に違反した場合は、Intellisync Corporationは、他のすべての権利を損なうことなく、本使用許諾契約を解除することができます。このような場合、お客様は、本ソフトウェアのすべてのコピーを破棄してください。

■限定保証

Intellisync Corporationは、本ソフトウェアが購入された日から 30 日の期間内において、本書（Intellisyncの使いかた）の記述に従って実質的に機能することを保証するものとします。ソフトウェアに関する黙示保証はこの 30 日間に限定されます。

■エンドユーザへの補償

本ソフトウェアが上記の「限定保証」条項に適合しなかった場合の Intellisync Corporationの全責任とこれに対する唯一の救済は、Intellisync Corporationの裁量により、(a.) エラーを修正する、または (b.) エラーの解決法を見つける、のいずれかに限られます。ソフトウェアの欠陥が、事故、悪用、または誤用によるものである場合は、限定保証は無効となります。交換されたソフトウェアはご購入当初の限定保証期間中保証されます。

■免責条項

Intellisync Corporation は、「限定保証」条項で明記した保証以外には、本ソフトウェアに対するいかなる保証も致しません。Intellisync Corporationは、ソフトウェアに対し明示、黙示を問わず、商品適性、特定用途に対する適合性、および第三者による著作権などの権利の非侵害に関していかなる保証も行いません。管轄区域によっては、黙示保証や黙示保証の保証期間の除外、または偶発的損害の制限の除外を認めていないため、上記の制限または除外がお客様に適用されない場合もあります。この保証は、お客様に対して特定の法律上の権利を与えるものです。また、管轄区域によっては、その他の権利が適用されることもあります。

■結果的損害に対する責任の排除

いかなる場合においても、Intellisync Corporationは、たとえIntellisync Corporationがそのような損害の発生の可能性について知っていた場合においても、本ソフトウェアの実行または使用から生じる結果的損害、特別損害、付随的損害またはその他のあらゆる種類の間接損害についての責任を負いません。

このソフトウェアは、アメリカ合衆国特許 5,392,390, 5,666,553, 5,684,990, 5,701,423, 5,943,676, 6,044,381, 6,141,664, 6,212,529, 6,330,568 および 6,405,218で保護されています。その他の特許は申請中です。

IntellisyncでシンクできるデータについてIntellisync for JRC（以下、「Intellisync」といいます）は、本電話機と、パソコンにインストールされているMicrosoft Outlook（以下、「Outlook」といいます）を連携させるためのソフトウェアです。
Intellisyncを使うと、Outlookで管理している「予定表」および「連絡先」のデータと、本電話機の「スケジュール」および「電話帳」のデータを、相互にシンクさせることができます。
パソコンまたは本電話機のどちらかでデータの追加･変更･削除を行っても、シンクを行えば、もう一方のデータも同様に更新されます。

電話帳データの対応

本電話機の「電話帳」データと、Outlookの「連絡先」データは、1000件までシンクできます。
シンクできる項目と内容は、次の通りです。

本電話機での項目名	Outlookとのシンク	シンクできる内容
名前	○	全角16文字（半角32文字）まで
フリガナ	○	半角32文字まで
グループ（10種）	×	
電話番号1～3	○	それぞれ32桁まで
電話番号種別アイコン	×	
メールアドレス1～3	○	それぞれ半角64文字まで
アドレス種別アイコン	×	
メモ	○	全角50文字（半角100文字）まで
画像	×	
短縮設定	×	
シークレット設定	○	
指定着信音 （電話･Eメール･ライトメール）	×	
指定着信イルミネーション （電話･Eメール･ライトメール）	×	

お知らせ

● Outlookの「連絡先」データで、姓、名、フリガナ、電話番号、またはメールアドレスがない「連絡先」データは、本電話機の「電話帳」データには登録されません。

■「名前」「フリガナ」の処理

本電話機の電話帳の「名前」は、Outlookの連絡先の「姓」と「名」にシンクしています。Outlookの「姓」と「名」が本電話機に転送された場合は、姓と名を「/」（半角）で区切った文字列が、本電話機の電話帳の「名前」に登録されます。
本電話機の「名前」がOutlookに転送された場合、姓と名が「/」で区切られていなければ、Outlookの「姓」として登録されます。姓と名が「/」で区切られていれば、それぞれOutlookの「姓」と「名」に登録されます。

例1：　Outlookでの連絡先　→（シンク）→　本電話機の電話帳

姓：山田
名：太郎

シンク

名前：山田/太郎

例2：　本電話機の電話帳　→（シンク）→　Outlookでの連絡先

名前：山田太郎

シンク

姓：山田太郎
名：（空白）

「フリガナ」も、「名前」と同様に「/」を区切りとして登録されます。

■「電話番号」「メールアドレス」の処理

Outlookの連絡先では、「電話番号」の登録欄が複数あり、一部の欄を未入力（空白）のままにしておくこともできます。しかし本電話機の電話帳では、「電話番号」は常に1から順に登録されます。そのため、シンクを繰り返すと登録欄がずれてしまい、次回シンク時にデータが変更されたと通知され、データを更新してしまう場合があります。
Outlook側での電話番号入力時には、会社電話、自宅電話、携帯電話の順で電話番号を入力していただくことをお勧めいたします。
また、メールアドレスも電話番号と同様に、電子メール、電子メール2、電子メール3の順でメールアドレスを入力していただくことをお勧めいたします。

例：　Outlookでの連絡先　→（シンク）→　本電話機の電話帳

会社電話：03-3123-XXXX
自宅電話：（空白）
携帯電話：070-1234-XXXX

シンク

電話番号1：033123XXXX
電話番号2：0701234XXXX
電話番号3：（なし）

スケジュールデータの対応

本電話機の「スケジュール」データと、Outlookの「予定表」データは、1000件までシンクできます。
シンクできる項目と内容は、次の通りです。

本電話機での項目名	Outlookとのシンク	シンクできる内容
年月日	○	2000年1月1日～2037年12月31日
開始時刻	○	00:00 ～ 23:59

本電話機での項目名	Outlook とのシンク	シンクできる内容
終了時刻	○	00:00 ～ 23:59
終日	○	
場所	○	全角27文字（半角54文字）まで
内容	○	全角45文字（半角90文字）まで
休日設定	×	
通知設定	○	・通知する ・事前通知する：5-99分 ・通知しない
音設定	×	

■繰り返しデータの処理

Outlookで定期的な予定として登録されているデータは、本電話機ではそれぞれ1件ずつのスケジュールとして登録されます。

■日をまたぐ終日データの処理

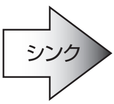
Outlookで2日以上にまたがる終日のイベントとして登録されているデータは、本電話機では1日ずつの終日スケジュールに分割して登録されます。

■開始時刻と終了時刻が日付をまたぐデータの処理

Outlookで日付をまたぐ予定として登録されているデータは、本電話機では開始日の23:59までのスケジュールとして登録されます。

例：　Outlookでの予定

開始時刻:2005/12/2　20:00
終了時刻:2005/12/3　2:00



本電話機でのスケジュール

開始時刻:2005/12/2　20:00
終了時刻:2005/12/2　23:59

■「内容」の処理

本電話機のスケジュールの「内容」は、Outlookの予定表の「件名」と「内容」にシンクしています。本電話機の「内容」がOutlookに転送された場合は、最初の改行までの文字列がOutlookの「件名」に、それ以降の文字列が「内容」として登録されます。Outlookの「件名」と「内容」が本電話機に転送された場合は、「件名+（改行）+内容」の文字列が、本電話機のスケジュールの「内容」に登録されます。

お知らせ

- ●パソコン側の連絡先データや予定表データが1000件を超える場合、全件を本電話機に登録することはできません。電話帳のフィルタ設定やスケジュールの日付範囲設定を行って、シンク対象を1000件以内に絞り込む必要があります。
- ●パソコン側の連絡先や予定表のデータが、シンクできる範囲や文字数を超える場合、超えた部分のデータは本電話機に転送されません。

Intellisyncをインストールする

インストール前の確認について

必要なシステム環境

Intellisyncをインストールしてご利用いただくには、次のシステム環境が必要です。

- OS：日本語版Windows XP Home Edition、Windows XP Professional、Windows 2000 Professionalのいずれか
- CPU：Pentium以降
- ハードディスク：60MB以上の空き容量
- メモリ：256MB以上
- ディスプレイ：VGA（640×480ドット）表示が可能なもの
- CD-ROM ドライブ
- USBポート
- すでにインストールされて設定されている日本語版Microsoft Outlook 2000、2002、2003のいずれか

USBドライバのインストール

Intellisyncでは、本電話機とパソコンをUSBケーブルで接続してデータを転送します。USBケーブルで接続された本電話機を転送先として認識するためには、パソコンに必要なドライバがインストールされている必要があります。詳細は本電話機の取扱説明書をご覧ください。Intellisyncのインストール手順に進む前に、本電話機がパソコンに接続されてWindowsに認識されていることを確認しておきます。

他のIntellisyncソフトウェアがすでにインストールされている場合

Intellisync for JRCと、電話機やPDAとのシンクを行う他のIntellisyncソフトウェアは、1台のパソコン上で共存させることはできません。他のIntellisyncソフトウェアがすでにパソコンにインストールされている場合は、Intellisync for JRCをインストールする前に、アンインストールを行ってください。

Intellisyncをインストールする

インストールの準備

1 パソコンと本電話機を、USBケーブルで接続する

インストール操作の最後で本電話機との接続を設定するため、本電話機の電源を入れた状態で、付属のUSBケーブルを使ってあらかじめパソコンに接続しておきます。

2 Intellisyncが入っているディスクを、CD-ROMドライブに挿入し、Intellisync for JRCのインストーラを起動する

Intellisyncのインストール画面が表示されます。



お知らせ

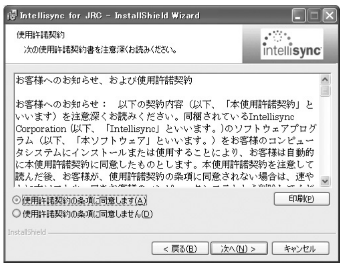
● インストーラの起動方法については、Easy Setup Tool（CD-ROM）のマニュアルを参照してください。

Intellisyncのインストール

Intellisyncのインストールは、画面の指示に従って行います。

1 インストール画面で、[次へ] をクリックする

2 ライセンス契約の内容を確認し、契約に同意する場合は「使用許諾契約の条項に同意します」を選択して、[次へ] をクリックする



3「ユーザ名」と「所属」を入力し、［次へ］をクリックする



4 インストール先のフォルダを確認し、［次へ］をクリックする

インストール先のフォルダは、あらかじめC:¥Program Files¥Intellisync Corporation¥Intellisync for JRCに設定されています。通常は特に変更する必要はないので、そのまま［次へ］をクリックします。
インストール先のフォルダを変更するときは、［変更］をクリックして、インストール先を指定します。



5［インストール］をクリックする

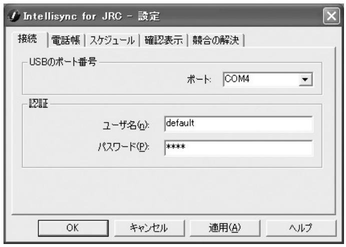


6 本電話機の電源が入っており、USBケーブルでパソコンに接続されていることを確認して、［完了］をクリックする



接続条件の設定

インストールが完了すると、Intellisyncが起動し、「Intellisync for JRC - 設定」画面が表示されます。
（この画面の上に「ユーザー プロファイルの選択」画面が表示された場合は、このあとの「プロファイルの選択」（☞ 10ページ）をご覧ください。）



1 「ポート」のプルダウンメニューから、本電話機の接続に使用しているポートを選択する

「ポート」のプルダウンメニューには、有効になっているCOMポートがすべて表示されます。本電話機の接続に使用しているポートが不明な場合は、このあとの「COMポートの確認方法」（☞ 10ページ）をご覧ください。

2 「ユーザ名」と「パスワード」を入力する

初期値では、「ユーザ名」として「default」、「パスワード」として「0000」が自動的に設定されています。この初期値を変更する場合は、半角英数字16文字以内で入力してください。
本電話機の「接続設定」でも、ここで入力した「ユーザ名」と「パスワード」と同じものを設定する必要があります。

3 [OK] をクリックする

設定が完了すると「Intellisync for JRC - 設定」画面が閉じ、パソコン画面右下のシステムトレイにIntellisyncのインジケータが表示されます。

■COMポートの確認方法

本電話機との接続に使用されているCOMポートは、次の手順で確認できます。

1 [スタート]メニューから、[コントロールパネル]→[プリンターとその他のハードウェア]→[電話とモデムのオプション]を選択する

「電話とモデムのオプション」画面が表示されます。

2 [モデム]タブをクリックする

本電話機との接続に割り当てられたCOMポートの番号が表示されます。



プロファイルの選択

Outlookに対して複数のプロファイルを設定している場合は、Intellisyncのインストールが完了すると、「ユーザー プロファイルの選択」画面が表示されます。シンクの対象とするデータにアクセスするためのプロファイルを選択してください。
Outlookに対して複数のプロファイルを設定していない場合、この画面は表示されません。

1 プロファイルを選択し、[OK]をクリックする



Intellisyncの状態を管理する

Intellisyncインジケータの表示

Intellisyncのインストールおよび設定を行うと、Intellisyncはパソコンに常駐します。パソコン画面右下のシステムトレイには、Intellisyncの状態に応じたインジケータが表示されます。

- アクティブ：Intellisyncがパソコンに常駐していて、本電話機とのシンクに対応できる状態



- 非アクティブ：Intellisyncはパソコンに常駐しているが、本電話機とのシンクには対応できない状態



お知らせ

● アクティブ状態のまま、本電話機をパソコンに接続し、放置しておくとわずかに本電話機の画面が点滅します。これは正常動作で故障ではありません。

■インジケータによるメニューの選択

Intellisyncのインジケータをクリックすると、次の3つのメニューを選択できます。

- アクティブ：Intellisyncを本電話機とのシンクに対応できる状態にします。
- 設定：Intellisyncの設定画面を表示します。
- 終了：Intellisyncを終了し、パソコンに常駐しない状態にします。終了すると、インジケータの表示が消えます。

Intellisyncインジケータが非アクティブの場合

Intellisyncのインジケータが非アクティブ表示の場合は、Intellisyncの設定または本電話機との接続に問題があります。次の点を確認してください。



- インジケータをクリックして、「アクティブ」がチェックされているかどうかを確認します。チェックされていない場合は、「アクティブ」を選択してください。
- インジケータをクリックして「設定」を選択し、表示される画面で、Intellisyncが正しく設定されているかどうかを確認します。
- 本電話機が正しく接続されているかどうかを確認します。

Intellisyncの再起動

Intellisyncを終了した後、改めて起動してパソコンに常駐させるには、次の２つの方法があります。

・ Intellisyncのインストール後にデスクトップに表示された、「Intellisync for JRC」アイコンをダブルクリックする



・ [スタート]メニューから、[プログラム]→[Intellisync Corporation]→[Intellisync for JRC]→[設定]を選択する

Intellisyncが起動すると、まず接続の設定画面が表示されます。[OK] をクリックすると設定画面は閉じますが、Intellisyncはパソコンに常駐します。

Outlookとのシンクを実行する

ここでは、Outlookと本電話機のデータをシンクするための基本的な操作について説明しています。詳細な説明については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。

本電話機の接続設定を行う

1 待ち受け画面で F 5 7 を押す



2 2（接続設定）を押す

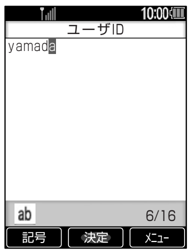
3 指紋認証または暗証番号認証を行う

4 2（ユーザID）を押す



5 ユーザIDを入力する

パソコンでIntellisyncの設定時に入力した「ユーザ名」と同じものを、半角英数字16文字以内で入力します。



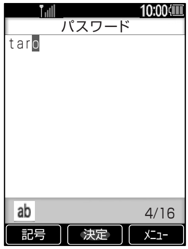
6 ● を押す

ユーザIDが設定され、接続設定画面に戻ります。

7 3（パスワード）を押す

8 パスワードを入力する

パソコンでIntellisyncの設定時に入力した「パスワード」と同じものを、半角英数字16文字以内で入力します。



9 ● を押す

パスワードが設定され、接続設定画面に戻ります。
設定したパスワードは、文字数に関わらず「＊＊＊＊＊＊＊＊」と表示されます。

お知らせ

● 初期値では、「ユーザID」として「default」、「パスワード」として「0000」が設定されています。「ユーザID」と「パスワード」が未入力の状態で ● を押すと、初期値がそのまま設定されます。

シンクを実行する

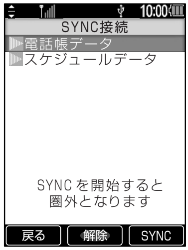
1 パソコンと本電話機を、USBケーブルで接続する

本電話機に付属のUSBケーブルを使って、電源の入った本電話機とパソコンを接続します。

2 待ち受け画面で F 5 7 を押す

3 1（SYNC接続）を押す

4 シンクを行うデータを確認し、Web（SYNC）を押す



「　」が表示されているのが、シンクが行われるデータです。データのシンクが開始すると「通信中」→「保存中」の順にメッセージが表示され、シンクが終了すると「SYNCに成功しました」と表示されます。

▶ シンクを解除するには

で「　」が表示されているデータを選択して、（解除）を押します。

「　」が消え、そのデータのシンクは行われません。

5 パソコンと本電話機から、USBケーブルを抜く

お知らせ

- お買い上げ時には、電話帳データ、スケジュールデータ両方のシンクを行うよう設定されています。
- 待ち受け画面で ▲Page IC Rec を約1秒以上押しても、データのシンクが開始できます。
- 本電話機側で電話帳ロックが設定されているときは、シンクを行うことができません。電話帳ロックを解除してから行ってください。
- シンクするデータ内に認識できない文字が含まれていた場合は、表示可能な文字に置き換えられます。
- シンクを実行した場合、「ユーザID」「パスワード」が、パソコン側でIntellisyncの設定時に入力した「ユーザ名」「パスワード」と一致しないときは、「設定を確認してください」とメッセージが表示されます。
- Outlookの「連絡先」データで、姓、名、フリガナ、電話番号、またはメールアドレスがない「連絡先」データを作成し、シンクを実行すると、追加などのダイヤログを表示しますが、本電話機の「電話帳」データには登録されません。
  「連絡先」データの作成には、姓、名、フリガナ、電話番号、またはメールアドレスを入力していただくことをお勧めいたします。
- Outlook側での電話番号を入力するときには、会社電話、自宅電話、携帯電話の順で電話番号を入力していただくことをお勧めいたします。
- Outlook側でのメールアドレスを入力するときには、電子メール、電子メール2、電子メール3の順でメールアドレスを入力していただくことをお勧めいたします。
- シンク中は、PWR を押さないでください。
- シンク中は、パソコンと本電話機から、USBケーブルを抜かないでください。

シンク中のパソコン画面の表示

パソコンの画面では、シンク中に「シンク中」のメッセージが表示されます。終了するまでお待ちください。

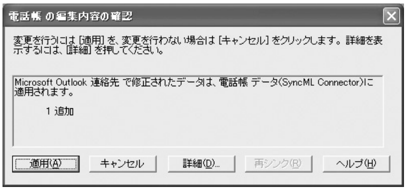


■Outlook側のデータ件数が1000件を超えている場合

本電話機に登録できる電話帳やスケジュールは、それぞれ1000件までです。Intellisyncはデータをシンクする際に、シンク後に本電話機に登録されることになるデータ件数をあらかじめ計算し、その件数が1000件を超えることが発見されると警告メッセージを表示します。この場合はシンクをいったんキャンセルし、電話帳のフィルタ設定やスケジュールの日付範囲設定を行ってシンク対象を1000件以内に絞り込んでから、再度シンクを行ってください。

■変更データの確認

シンク中に、前回のシンク以降に追加・変更・削除されたデータを認識すると、確認画面が表示されます。



1 **変更を実行する場合は、[適用] をクリックする**

データの追加･変更･削除などが、シンクの相手側に適用されて、シンクが完了します。

▶ 変更を適用するデータを確認するには

[詳細] をクリックすると、シンクされるデータの詳細な内容を確認できます。
また、[再シンク] をクリックすると、シンクをもう一度やり直します。

お知らせ

- ●シンクするデータの範囲を細かく指定することもできます。詳細な説明については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。
- ●同一データをシンクさせた場合、確認画面が表示されない場合があります。

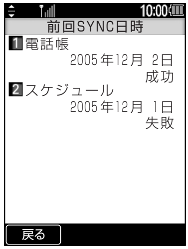
前回のシンク日の確認

前回、Intellisyncによるシンクを行った日を確認することができます。

1 待ち受け画面で F 5 7 を押す

2 3（前回SYNC日時）を押す

電話帳およびスケジュールについて、前回シンクを行った日とその結果が表示されます。



Intellisyncを再設定する

Intellisyncのインストールを行うと、通常は、シンクのための基本的な設定も完了します。ここでは、インストール後にIntellisyncを再設定する方法について説明しています。必要に応じて参照してください。詳細な説明については、Intellisyncのヘルプをご覧ください。

再設定を行うための準備

■パソコンと本電話機の接続

再設定の前に、パソコンと本電話機をUSBケーブルで接続してください。接続していないとポートを指定できません。また、あらかじめUSBケーブルのドライバをパソコンにインストールしておく必要があります。詳細は本電話機の取扱説明書をご覧ください。

■設定画面の表示

Intellisyncの設定画面を表示するには､パソコン画面右下のIntellisyncのインジケータをクリックして、「設定」をクリックします。

[接続]タブでの設定

本電話機との接続に関する設定を行います。



▶ ポート

パソコン上で有効となっているCOMポートがリスト表示されるので、その中から本電話機の接続に使用するCOMポートを選択します。本電話機の接続に使用されるCOMポートの番号は、パソコンと本電話機を初めてUSBケーブルで接続した際にインストールされたUSBドライバにより決定されます。

▶ ユーザ名、パスワード

本電話機の「接続設定」で設定した「ユーザID」と「パスワード」を入力します。Intellisyncは、ここで設定されたユーザ名とパスワードの組み合わせを持つ電話機とのみシンクを行います。

[電話帳]タブでの設定

電話帳データのシンクに関する設定を行います。



▶ フィルタ設定

Outlook上の連絡先データのうち、ある条件に一致したデータだけをシンク対象とする場合に使用します。本電話機は電話帳データを1000件までしか登録できないため、Outlook上の連絡先データが1000件を超えている場合は、フィルタ設定を行ってシンク対象の件数を絞り込む必要があります。詳細な説明については、このあとの「フィルタの作成」をご覧ください。

▶ オプション

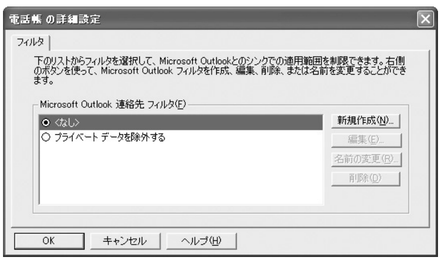
Outlookに複数のプロファイルが設定されている場合は、このボタンをクリックして、シンク対象とするプロファイルを選択します。インストールの際や、[スケジュール]タブの画面でプロファイルを選択している場合は、ここで再度選択する必要はありません。

▶ 参照

Intellisyncは、Outlook上の「連絡先」フォルダを自動的に探し出してシンク対象とします。シンク対象とするフォルダが別の場所にある場合は、このボタンをクリックしてフォルダを選択します。

■フィルタの作成

[電話帳]タブの画面で[フィルタ設定]をクリックすると、「電話帳の詳細設定」画面が表示されます。ここでは、新しいフィルタを作成し、それを適用する方法について説明します。



1 ［新規作成］をクリックする

2 フィルタ名を入力し、[OK] をクリックする



フィルタの条件を設定する画面が表示されます。



3 条件を設定するOutlookの連絡先のフィールドを選択し、演算子を選択して、値を入力する

4 [リストに追加] をクリックする

フィルタの条件が登録されます。

5 複数の条件を設定した場合は、［規則］タブをクリックして、規則を選択する

［最低一つの条件を満たす必要がある］を選択すると、複数の条件のいずれかを満たす連絡先がシンク対象となります。

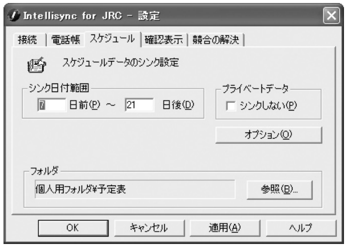
6 [OK] をクリックする

7「電話帳の詳細設定」画面で、新しく作成したフィルタをオンにして[OK] をクリックする

新しいフィルタが適用されます。

[スケジュール] タブでの設定

スケジュールデータのシンクに関する設定を行います。



▶ シンク日付範囲

シンク対象となる日付の範囲を指定します。標準では「7日前」から「21日後」までがシンク対象となり、この範囲以外のスケジュールデータはシンクされません。
本電話機はスケジュールデータを1000件までしか登録できないため、Outlook上のスケジュールデータが1000件を超えている場合は、この日付範囲を設定してシンク対象の件数を絞り込む必要があります。

▶ プライベートデータ

Outlookで「プライベート」が設定されている予定をシンク対象から外す場合は、ここをオンにします。

▶ オプション

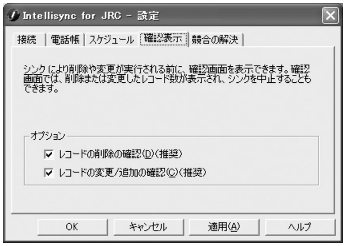
Outlookに複数のプロファイルが設定されている場合は、このボタンをクリックして、シンク対象とするプロファイルを選択します。インストールの際や、[電話帳] タブの画面でプロファイルを選択している場合は、ここで再度選択する必要はありません。

▶ 参照

Intellisyncは、Outlook上の「予定表」フォルダを自動的に探し出してシンク対象とします。シンク対象とするフォルダが別の場所にある場合は、このボタンをクリックしてフォルダを選択します。

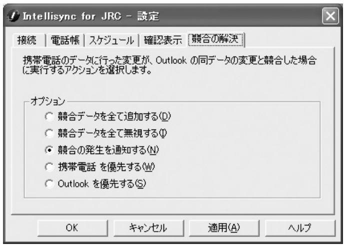
[確認表示]タブでの設定

Intellisyncでは通常、シンクの際に追加・変更・削除する電話帳やスケジュールのレコードデータがあった場合、確認画面を表示します。
[確認表示]タブのオプションのチェックを外すと、確認画面が表示されなくなります。チェックを外さず、確認画面を表示させることをお勧めします。



[競合の解決]タブでの設定

シンクの際に、競合（本電話機とOutlookの双方で同じデータを修正したこと）が発見された場合の動作を設定します。



標準では「競合の発生を通知する」が選択されています。この場合、競合が発生するとメッセージが表示されるので、どのようにシンクするかを選択することができます。この標準設定を変更せず、そのままご使用されることをお勧めします。